

東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/>

NO.198号 2010年1月1日 発行

今月の主な記事

- 1 頁、会長・新年の挨拶
- 2 頁、西多摩宣伝行動、安心年金つくろう東京の会結成総会 3～6 頁、東京社保協第40回総会特集
- 6 頁、三小児病院の存続を求める闘い、都議会行動

東京社会保障推進協議会(東京社保協)
〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号
東京労働会館6階
TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823

新年明けましておめでとうございます
おめでとーおめでとーおめでとー



竹崎 三立会長

新年あけましておめでとうございます
います

二〇〇九年八月三〇日に五〇余年続いた自民党主導政権が過半数割れとなり、歴史的な政権交代が実現しました。政権誕生後の一〇〇日間はハニイームーンの間といわれていますが、民主党連立政権の問題点や限界も明らかになりました。

民主党にはマニフェストで国民に約束した事項は実行してもらわねばなりません。小沢幹事長のマニフェストの実行にこだわらず、との発言が見られたしている事は看過できません。

安全保障問題や社会保障改善・医療制度改革に動揺が見られ、すぐ手をつけられるものも先送りする姿勢には危険な兆候が見られます。国

政策運営にトップダウン手法が強化されており、民主主義が蔑ろにされる危険を感じます。財源問題では税制の抜本的な転換が模索されておき、各種控除を止め、手当てや給付金に切り替え、税と社会保障を一体的に運営するため社会保障カード導入が考えられています。民主党のマニフェストや動向につき、研究・注視・監視し、マニフェストの限界・問題点も明確にしつつも、国民への約束を如何に守らせ実行させるかがわれわれに求められている運動課題であると思います。

二〇一〇年は世界にも日本においても厳しい経済状況が持続すると思われれます。コップ15での世界環境問題での混迷状態もあり、なかなか改善の見通しは立ちにくい年と思われれますが、同時に大きな転換期に差し掛かっている年でもあります。中国を渦の中心とした世界の変化が加速する年となりそうです。

七月の参議院選挙まであと半年間

七月の参議院選挙まであと半年間となりました。今のままで民主党単独政権を実現させることには危惧を覚えます。連立政権の枠組みを維持させ、さらに健全野党の力量をアツプさせることが重要と考えます。そのためには、これから半年間の私たちの運動・取り組みが重要です。

お知らせ

第3回常任幹事会 1月28日(木) 14時～16時

労働会館 地下会議室

後期高齢者医療制度廃止など「4・3東京大集会」

第1回実行委員会 1月13日(水) 18時30分～

東京労働 会館地下会議室

団体・地域代表者会議 2月5日(木) 13時半～16時

東京労働会館地下会議室 春の闘い、運動の交流等

複数でご参加下さい



二〇一〇年 元旦

今年も決して楽観できる年とはなりそうありませんが、少しでも新年への期待を持ちたいと思います。そのためには私たちの運動の拡大・成果が求められます。

東京社保協への都民の期待に応えられるよう皆様のご奮闘をお願いします。焦らず着実に、今年も頑張つてゆきましよう。宜しく願いいたします。

西多摩

「高齢者差別医療制度廃止」署名行動 西多摩で奮闘!

毎日、後期高齢者医療対象者が四千人生まれ、75歳の人は、差別医療制度を一刻も早く廃止して欲しいと願っています。

西多摩では、三多摩健康友の会多摩川支部が福生駅頭(11/24)、新婦人青梅市支部が河辺駅頭(11/28)で署名行動。河辺都営団地には、三多摩健康友の会青梅支部が訪問行動(11/28)で署名を集めています。こ



福生駅での署名行動

の3つの行動に26名が参加し、二八五筆の署名を集めました。国会座り込み行動や国会議員要請行動にも参加し、これまでに提出した請願署名と合わせると一、二二五筆になります。

厚労省は『高齢者差別医療制度』に代わる新制度のスケジュールを11月30日に発表しました。それによると、来年夏をめどに「中間まとめ」、11年度に法案提出、2年間の準備を経て13年4月施行としています。

毎日四千人の75歳高齢者が生まれ、後期高齢者が増えるほど際限なく保険料が上げられ、滞納者には保険証が取り上げられます。

昨年6月に4野党で参議院で成立させた廃止法案は、「元の老人保健制度に戻す」でした。鳩山内閣に後戻りは許されません。

「老健法に戻したら」「医療保険一元化論」などを学習し、宣伝を強めて署名行動を一層強めましょう。

12月15日に「後期高齢者医療制度廃止して老人保健法に戻したら・・・」講師 寺尾正之氏(全国保団連事務局次長)で学習会を行いました。

西多摩社保協事務局長

入山 弘志

安心年金つくる う東京連絡会 結成総会開催

都民・国民の熱い期待を受け「安心年金つくるう東京連絡会」が発足

日本年金機構が民主党の公約違反によって来年1月に発足されるようとする中、都民・国民の熱い期待を受け、11月28日(土)、首都・東京に「国の責任で安心して暮らせる年金制度をつくる東京連絡会」(略称「安心年金つくるう東京連絡会」)が結成されました。

職阻止の要求をしつかり掲げて闘いを強めよう!」と呼びかけました。

結成総会の第一部では、久昌以明氏(全日本年金者組合・政策調査部長)と中川勝之氏(弁護士)の講演が行われました。久昌氏は「相次ぐ年金制度の改悪で、無年金者や低年金者が量産されている。消費税によらない最低保障年金制度の確立が緊急の課題だ」と指摘した上で、「『安心年金つくるう東京連絡会』の運動に大いに期待したい」と語りました。中川弁護士からは、五〇〇名以上にのぼる社保庁職員が分限免職されようとしていることの違法性を厳しく指摘しました。

第二部では杉浦厚生書記長から、各種学習会、宣伝、国会議員要請行動等の運動を積み重ねながらの約半年にわたる準備経過を報告しつつ、最低保障年金の確立や日本年金機構の凍結など5つの要求課題の一致に基づく「会」の結成の意義を呼びかけました。

参加者からは「年金を含む社会保障の確立に全力を尽くそう!」「『会』の結成を心待ちにしていた。当面日本年金機構凍結と

最低保障年金制度の創設をめざそう! 安心できる年金にしていこう! 社会保険庁職員の雇用を守っていこう!



会場いっぱい参加でした

分限免職反対の闘いを旺盛に展開しよう」といった積極的発言が出され、満場一致で「会」の結成を確認しました。

当日の会場カンパは六万二四五百円に達しました。また24名の方々が、総会終了と同時に個人会員になっていただきました。

東京国公共闘事務局長

植松 隆行

最低保障年金制度の創設をめざそう! 安心できる年金にしていこう! 社会保険庁職員の雇用を守っていこう!

東京社保協 第40回総会開催



た。自民党が半世紀続いた政治を終わらせた。引きずり下ろすことができた。替わって民主党政権が誕生した。新しい政権が何をしてくれるのか。臨時国会が先月26日から始まって1カ月が経った。貧困率の公表、生活保護母子加算の全額復活、地球温暖化ガスの25%削減など前進面もあるが、一方で機密費の非公開や後期高齢者医療制度廃止の先送りも行なわれている。構造改革をやめさせようと政権についたのに構造改革推進という根拠がなくて、時として見え隠れしたりしている。

11月26日、豊島区南大塚の東京労働会館・ラパスホールで東京社保協第40回総会を開催しました。

参加者は20都団体42人、26地域社保協48人、事務局2人、来賓2人の94人の会場満杯の状況で開催しました。

議長は葛飾社保協の吉野五郎さん、東京自治労連の杉山美恵子さんが行ないました。

**開会あいさつ・高木史雄
副会長**



社会保障は今が旬です。今年度は激動の年だった。政権も変わった。今までは声を上げて変わらなかつた。今までは声を上げて、運動を進めていきましよう。総会が元気に情勢を変えていく場になればと思います。

来賓あいさつ
**中央社保協・相野谷安孝
事務局長**

二〇〇九年は歴史的な年になった。都議会も民主党が第1党



自公政権に對し、くらしや福祉・教育を変えていくと運動が進んだ。都議会も民主党が第1党

**日本共産党・大山とも子
都議会議員**

我々はこれまで以上の運動で包囲をする。後期高齢者医療制度の廃止をしっかりとやらせることが大事だ。見守るだけでなく、国民が主人公の政治にさせるために一緒に頑張っていきたい。



**前年度の取り組み・二〇一〇年度運動方針案・前
沢淑子事務局長**

当事者が運動の中心に、かかってない共同行動の広がりで政治情勢を大きく変えた

東京都では昭和44年に高齢者医療費助成をやって来たが、平成12年の都議会で7年間の経過処置をもって平成19年6月に廃止となった。都民の福祉・教育に力を入れる都政にしていきたい。共にがんばりましょう。

「後期高齢者医療制度の廃止」実現へ向けての運動では、学習会、地域宣伝、全自治体で働きかけ62自治体中51自治体で国へ意見書採択させた運動、不服審査請求は一万三千を超え

「介護保険の改善」をめざし、利用者・家族、労働者、事業者に働きかけ「介護をよくする東京の会」を結成し、宣伝行動、ヘルパー集会介護一〇番の相談など取り組みました。

池袋駅頭でのなんでも相談会を大きく成功させ、全都に広げ各種相談会を各地域で取り組んできました。

雇用・くらしの相談活動の開催から日常化への運動では、2月27日・28日に東京社保協主催のなんでも相談会、同日国民大運動と新宿・渋谷・豊島・文京社保協の共同での新宿・渋谷・池袋駅頭でのなんでも相談会を



課題別の取り組み

生活保護・生存権裁判では、生存権裁判を支える事務局団体として、裁判にむけた運動を進めてきました。

二〇一〇年度の取り組み

後期高齢者医療制度の即時廃止の運動、医療改善、年金制度抜本改善、介護の改善、障害者自立支援法を廃止し応能負担が原則の新しい福祉制度を確立する取り組み、生活保護を守り拡充を、都民が主人公の都政への取り組み、東京社保協の活動改善と強化、地域社保協の強化、などが提起されました。

特別報告

渋谷社保協の自治体に向けた運動・新井 潔



渋谷では毎回開催の議会に合わせ、請願行動、全政党派への要請行動を取り

組んできました。介護保険制度改善、生活保護の老齢加算・母子加算の復活、後期高齢者医療制度を即時廃止し老人保健制度に戻すようになど。要請行動を積み重ねていく中で、楽しみな

議会になってきました。学習をし地域に知らせていくことが重要。大変な中でも、毎回取り組んでいくことが大事です。

「介護をよくする東京の会」結成と取り組み報告・中村 和明 (東京地評)



4月の介護報酬改定影響、介護認定基準の変更、介護保険処遇改善交付金についての東京都への要請行動な

どを取り組んできました。東部地域の訪問看護事業所へのアンケートでは94%の事業所で応募者がいない。86%の事業所でへ

ルパーが足りない。68%の事業所が経営の悪化。介護の事業所・労働者・利用者に働きかけ介護

保険を改善させていこうと「介護をよくする東京の会」を9月14日に準備会、11月4日に巣鴨地蔵通りで宣伝行動、3月14日に結成総会を92人の参加で開催。5月24日の「二〇〇九全都ヘルパー集会」に76名が参加、東京都への要請と交渉、都議会全会派への要請などを取り組んできました。

西武沿線の地域社保協交流会からの報告・岡本 卓郎 (西東京社保協)



西武池袋線、西武新宿線の7市の西東京、東久留米、清瀬、東村山、東大和、武蔵村山の地域の社保協で介護保険料、第4期介護保

険事業計画、各地域社保協の取り組み、学習会、対市要請交渉、駅頭宣伝、健診など活動交流、健診の実施内容・負担などの情報交流などを行なってきました。運動をレベルアップする上でもいい交流の場となっています。健診の実施では健診内容・自己負担状況など出し合い住民のための健診にしていく上でも役たっ

討論

東京国公・植松さん



11月28日に「安心年金つくろう東京連絡会」の結成総会を13時か

ら社会文化会館で行ないます。ぜひご参加下さい。年金保険料は年々上がっていきます。25年間払い続けると年金はもらえません。2年以上滞納している人は三十七万人います。保険料納付率は60%ぐらいです。雇用破壊が進む中、最低保障年金を作ろう、もっと短い期間で年金をもらえるようにという声があ

がっています。とりあえず1月からの年金機構への移行凍結をめざしがんばっています。

都老協・坂本さん



後期高齢者医療制度は闘わなければ廃止はできません。私たちは

12月16日〜18日まで、厚労省前での座り込み行動を行ないます。即時後期高齢者医療制度は廃止しろと厚労省にも要請していきたい。みなさんのご支援もお願いします。

東京土建・松尾さん



後期高齢者医療制度は廃止どころか新しい制度をつくって移行していくと表明

している。医療保険制度の一元化をめざしている。国保財政は緊迫している。土建も同様です。協会けんぽは13%ぐらい保険料を上げていこうという動きです。広域連合ではサービスの低下、住民の立場にたった医療制度にならない。私たちの要求も通り化に反対するよう民主党議員に要請している。地域の保険があ

ぶなくなってきた。医療を受けられない状況が広がっている。断固、医療保険制度の一元化に反対です。

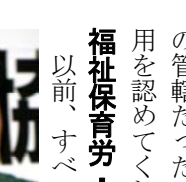
北区社保協・小川さん



実行委員会をつくり赤羽駅東口で3/27相談会を行なった。4時間で65人の相談があった。雇用・生活保護・

法律相談など相談が多かった。5千枚チラシをの事前に配布した。大きな反響があった。7/29は3時間で70件の相談があった。西口は都市再開発で東京都の管轄だったが区にも要請し使用を認めてくれた。

福祉保育労・國米さん



以前、すべての認可保育所は5㎡に1人(0歳児)でした。しかし、国基準で運営

㎡に1人、認証保育所は2㎡に1人。二〇〇一年から二〇〇八年に22件の死亡事故が起きている。国の基準を下げることはあってはならない。現場の声をもって届けていきたい。社保協が中心になって東京の保育を変える行動を進めたい。

板橋社保協・阿部さん



全駅頭での宣伝行動、老人クラブへの要請、何でも相談会など多様な取り組みを行なった。2月・4月・11月に相談会を開催し百件以上の相談を受けた。板橋区にも話しをしたが応じてくれなかった。地域社保協を強化していくことが必要。拡大幹事会には40人集まった。区議も呼んで情勢報告をしてもらっている。区との交渉をしていく上でも役立っている。板橋社保協には半専従がいる。組織化・会議の準備など組織を作りながら要求運動を進めている。健康保険証の問題では、資格証明書の発行が五千件発行されている。今こそ社保協の出番。来年50周年を迎える。沢内村の「いのちの山河」の上映運動をしていきたい。

障都連・市橋さん



私たちは自立支援法の廃止を求めて闘っている。毎日国会へ詰めかけている。もうやめようよ自立支援法の集会から今年で3年目を迎えた。今年は10月30日に「さよなら

ら自立支援法」の集会を日比谷野外音楽堂などで行ない1万人が参加した。障害者自立支援法の闘いはまちづくり、教育、雇用の問題でもある。裁判でも闘っている。みなさんと一緒に自立支援法の廃止をめざし頑張っていきたい。

新婦人・酒井さん



新型インフルエンザのワークチンは公費負担でやってほしい。子どもの被害が多い。受けたいけど受けられない家庭が多い。ワークチンは自費となっている。自治体によっては助成が広がっている。

都教組・岸田さん



子どもの貧困と格差から守る運動を取り組んでいます。隠しても隠しきれない

い貧困問題です。夏休みなど給食がない時やせてしまう、教材が買えない・お金がないからいけない、体操着を兄弟で使っていて同じ時間に体操があると忘れたと言った子ども、家に帰って来た時親はいない。コンビニで買って食事をしている子どももいます。きょう都議会文教委員会があります。家庭の負担を減らして欲しい。就学援助は基準が下げられている。生保の1・5倍の収入の人で基準を下げている自治体が出てきている。区市町村に要請していきたい。

東京医労連・西銘さん



医師・看護師増やせの10・22集会を日比谷公園で四千名の参加で成功させた。

医師は増やすと言っている。看護師は動きがない。都は看護学校をつぶしてきた。看護師を心に大きな運動にしたい。人数がいらないと診療報酬は下がってしまう。具合が悪くても夜勤に入っている。大病院では何ヶ月も待たないとオペができない状況です。これでは国民・民のいのちは守れません。

東京公害患者と家族の会・小池さん



東京公害裁判は二〇〇八年7月に和解し、11年間の裁判闘争が終了しました。東京では原則医療費無料の制度を勝ち取りました。4万2千人が利用している。制度を5年で見直し、二〇一三年にどうよりよいものにしていくのか検討している。昨日第2回連絡会を行いました。国の救済制度にしていきたい。

都生連・秦さん



生存権裁判は全国的には北海道・秋田・新潟・東京・京都・岡山・広島・福岡

で闘われている。東京では去年6月に判決が出ました。2審で補強をしています。最低生活費はいくらなのか、首都圏の家計調査の資料、老齢医学の論文も提出しました。最大の争点は最低生活費です。東京では2月9日の結審、5月頃判決が行なわれます。高裁にむけての署名は10万3千です。第1審の17万を超える取り組みにしていきたい。東京では大型弁護士団で闘ってい

ます。ぜひ財政的支援のご協力をお願いします。

葛飾社保協の首野さん



街頭何でも相談会を取り組んだ。10時〜17時まで50人の相談があ

り61人の参加協力があった。明日の午後13時〜17時まで相談会を行ないます葛飾では、ピラ配布事件を5年間争っている。今月の30日に最高裁の判決がある。8時15分から宣伝し、10時半に判決が行なわれる。日弁連の全国大会でも「チラシ配布の自由は守られるべき」と決議された。社保協運動の権利としても守っていききたい。

旧役員あいさつ・遊佐信彦元副会長



私は社保協の会合に来るのが楽しみでした。都議会開会日の知事・

各政党会派への要請行動はほとんど参加してきました。社保協の常任幹事会では豊富な貴重な資料も出していますが感謝しております。今後も社保協の運動に頑張っていきます。

方針案・予算案の採択

会場全体の拍手で採択し確認しました。

総会決議の採択

酒井つる子常任幹事から総会決議案の提起があり全会一致の満場の拍手で採択しました。

閉会あいさつ・福井典子副会長



社会保障はゆりかごから墓場までの幅広い運動です。きょう総会で具体的な方針

が提起されました。3小児病院の取り組みなど、1つ1つの集いを成功させましょう。全力を上げ成功、結集しましょう。かつて経験をしたことがない情勢です。だから、かつてない運動を進めていきたいと思います。政治を変えていくには、しっかりと学び、もつと悩んで、今までやったことがない運動を進めていかなければなりません。地域は違うなっているのか、学ぶこと、考えること、大いに討論することを新しい情勢の中でやっていきたいと思います。痛みや苦しみをなくすため、頑張りましょう。東京社保協ここにありの運動を一緒に進めていきたいと思います。

**3小児病院の存続を求め
める闘い・都議会行動**

都議会厚生委員会

都議会は11月30日厚生委員会が行なわれ、都立3小児病院の廃止に反対する請願と75歳以上の医療費の無料化を求める請願が審議されました。

中野区選出の民主党・吉田都議は、小児病院の現状は不十分

だが今後改善していく、区部との格差をなくしていく、努力していくことを確認したとのことで反対

し、日本共産党大田都議だけの賛成で不採択となりました。都議選で公約したことと反する立場を取っている民主党は許せません。

東京社保協が提出していた75歳の医療費の無料化を求める請願も同じように共産党の賛成だ

けで不採択となってしまうし、3つの小児病院の守る会代表からも力が入った訴えがありました。

3小児病院を守る闘い

11月30日から12月16日まで小児病院の存続を求め都議会前に連日座り込み行動が行なわれました。

12月8日は新宿の西口で大宣伝行動を行ないました。東京社保協の前沢事務局長が3小児病院の存続を守る連絡会を代表して、都議会の状況や3小児病院を存続させることがいかに重要

なのかを訴えました。大田都議、3つの小児病院の守る会代表からも力が入った訴えがありました。

宣伝行動後、新宿中央公園、都庁の廻りを元気にシユプレヒコールをしながらパレードを行ない、都庁前昼休み行動に参加している仲間と合流し、2千名

が参加する大集会となりました。都庁にも声が届き、影響を与える取り組みとなりました。

子どもの命を守るため、3小児病院の存続めざし、今後も頑張っていきたいと思います。

2010年度東京社保協役員 敬称略

会 長	竹 崎 三 立 再	東 京 保 險 医 協 会
副 会 長	平 山 和 雄 新	東 京 地 評 院
会 員	高 木 史 雄 再	東 京 民 医 連
会 員	堀 口 和 男 再	東 京 土 建 合 本 部
会 員	田 川 英 信 再	年 金 者 組 合 都 本 部
会 員	福 井 典 子 再	東 京 自 治 労 連
事 務 局 長	前 澤 淑 子 再	洪 谷 社 保 協
事 務 局 次 長	成 平 正 英 再	東 京 民 医 連
常 任 幹 事	影 山 政 行 新	東 京 土 建 協 代 表 委 員
常 任 幹 事	民 谷 孝 和 秀 再	中 央 社 保 協
常 任 幹 事	相 川 村 德 秀 再	東 京 地 評 院
常 任 幹 事	西 銘 秀 実 再	福 祉 保 育 勞 東 京 地 本
常 任 幹 事	金 沢 藤 学 再	地 域 社 保 協 東 京 地 本
常 任 幹 事	斎 藤 山 美 惠 子 新	東 京 保 險 医 協 会
常 任 幹 事	杉 山 松 隆 慎 一 郎 再	東 京 齒 科 保 險 医 協 会
常 任 幹 事	植 松 尾 内 光 久 再	東 京 医 労 連 合 都 本 部
常 任 幹 事	河 市 酒 橋 井 一 也 再	東 京 金 者 組 合 都 本 部
常 任 幹 事	酒 桑 坂 本 光 勉 再	東 商 連 自 治 労 連
常 任 幹 事	坂 西 吉 野 五 郎 再	東 京 自 治 労 連
常 任 幹 事	岡 本 山 田 久 惠 子 再	東 京 国 公 建 連
常 任 幹 事	入 岸 田 尻 尚 吉 大 再	東 京 土 建 連
常 任 幹 事	江 渡 長 松 再	東 京 民 医 連
常 任 幹 事	会 計 監 査	障 都 連 都 本 部
常 任 幹 事		新 婦 生 連 都 本 部
常 任 幹 事		都 老 協 協
常 任 幹 事		板 橋 社 保 協
常 任 幹 事		葛 飾 社 保 協
常 任 幹 事		西 東 京 社 保 協
常 任 幹 事		西 多 摩 社 保 協
常 任 幹 事		足 立 社 保 協
常 任 幹 事		東 京 齒 科 保 險 医 協 会
常 任 幹 事		東 全 勞 濟 東 京



大きな声を上げてパレードする仲間